

統計調査ニュース

令和6年（2024年）11月

No.456



令和7年国勢調査の円滑かつ確実な実施に向けて

総務省統計局長 岩佐 哲也

国勢調査は、日本に住む全ての人・世帯が対象となる我が国で最も重要な統計調査であり、調査の結果は、衆議院の小選挙区の改定や地方交付税の算定基準など法定人口としての利用、人口減少や少子高齢化対策など国・地方自治体の施策の基礎資料としての利用、民間による経営分析・予測などに幅広く活用されており、本格的な人口減少社会を迎える中、その重要性は更に増しています。

総務省では、令和7年国勢調査の円滑かつ確実な実施に取り組むため、調査実施まで1年を切る中、令和6年10月25日に、総務大臣を本部長とする「令和7年国勢調査実施本部」を立ち上げました。今回の調査の主な取組ポイントは2つあります。

1つ目のポイントは、簡単で便利なインターネット回答を積極的に促進することです。調査員の確保や調査への回答の確保が課題となる中、回答者の利便性や結果精度の向上、調査員や地方公共団体の事務負担の軽減等に資するため、インターネット回答率5割を目指し、省を挙げて全力で取り組みます。具体的には、今回の調査では、調査書類のデザインや記載内容を工夫し、スマホ等

に誘導するほか、QRコードを読み取るだけでログイン情報が自動入力される機能を実装し、入力の手間を省きます。また、インターネット回答が困難な方々に対しても、郵便局などへの「オンライン回答支援ブース」の設置やコンタクトセンターによる回答サポートなど、多様な支援体制を充実させます。

2つ目のポイントは、広報・協力依頼の充実・強化を図ることです。

広報については、幅広い年代から支持されている国民的タレントのマツケンこと松平健さんを広報キャラクターに起用し、2か年にわたる一貫性のある効果的な広報を展開します。

協力依頼については、地域に精通した郵便局員などを調査員に登用できるよう、日本郵便本社などに協力をお願いするとともに、国勢調査を御支援いただくサポーター企業・団体と連携し、官民一体の協力体制を強化したいと考えています。

令和7年国勢調査の円滑かつ確実な実施に向け、地方公共団体や調査員の皆様と連携を密にし、しっかりと取り組んでまいります。皆様の御支援・御尽力をよろしくお願い申し上げます。

目次

令和7年国勢調査の円滑かつ確実な実施に向けて	1
令和7年国勢調査の円滑な実施に向けて(その5)	
ー「令和7年国勢調査実施本部」の発足ー	2
令和6年度統計データアナライズセミナーを開催しました	3
統計研修生募集の御案内	
ー 令和6年度第4四半期(令和7年1～3月)ー	4

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください！	
／「令和6年秋の叙勲」	5
「2024年度 統計関連学会連合大会」に参加して	6
とうけい通信⑨	
行くべき山口／山口県	7

令和7年国勢調査の円滑な実施に向けて(その5)

―「令和7年国勢調査実施本部」の発足―



総務省統計局では、令和7年国勢調査の円滑な実施に向けて様々な準備を進めており、前号(10月号)では令和7年国勢調査の実施計画案について御紹介しました。

今回は、調査実施まで1年を切る中、令和6年10月25日に、総務大臣を本部長とする「令和7年国勢調査実施本部」を発足しましたので、その概要を御紹介します。



◇ 令和7年国勢調査実施本部について

令和7年10月1日に実施する国勢調査は、我が国に居住する全ての人を対象とする最も基本的かつ重要な統計調査であり、調査の結果は、我が国社会経済の基盤データとして、各種施策の基礎資料となるものです。

この度、令和7年国勢調査の円滑かつ確実な実施に取り組むため、令和6年10月25日に、総務大臣を本部長とする「令和7年国勢調査実施本部」を発足しました。

◇ 主な活動内容

- (1) 国勢調査の円滑かつ確実な実施に関すること
- (2) 国勢調査への協力確保及び総合的な広報の推進に関すること

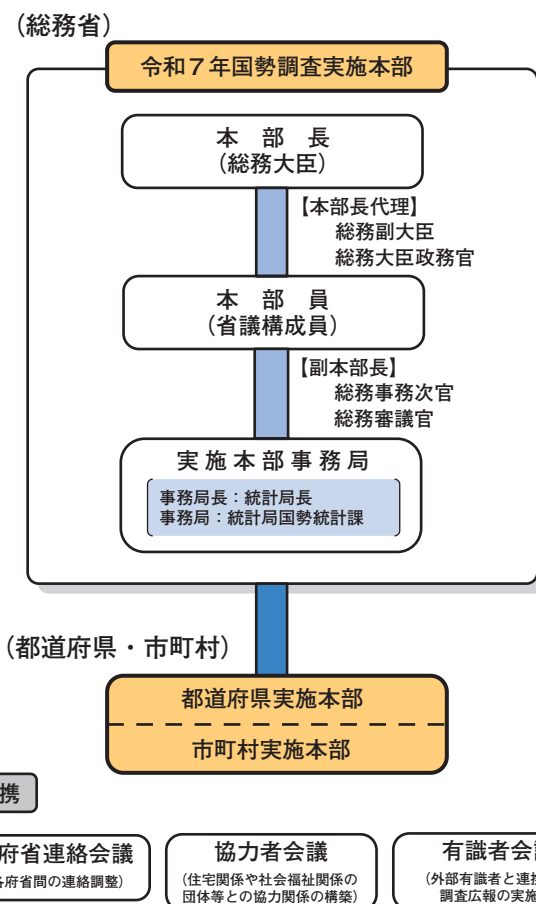
◇ 本部設置期間

令和6年10月から令和8年3月まで

◇ 構成

本部長	総務大臣
本部長代理	総務副大臣、総務大臣政務官
副本部長	総務事務次官、総務審議官
本部員	省議構成員

【図：令和7年国勢調査の推進体制】



令和7年国勢調査実施本部の発足



実施本部の看板を統計局長に手渡す村上総務大臣

令和6年度統計データアナライズセミナーを開催しました

総務省政策統括官(統計制度担当)室では、都道府県統計主管課の職員を対象に、統計分析手法を習得していた
だき、公的統計データ等の分析結果に基づく地域における政策立案に資することを目的に、毎年度、統計データア
ナライズセミナーを実施しています(共催:総務省統計研究研修所、委託事業者:株式会社日本総合研究所)。

1. セミナーの概要

令和6年度統計データアナライズセミナーは、令和
6年9月27日(金)に、36名の各都道府県における統計
主管課職員の方々に御参加いただき開催しました。本
年度についても、Web会議ツール(Webex)を活用し
た、全面オンラインによるセミナーを開催しました。

本年度も、「統計取扱業務担当職員向け研修(初
級)」(総務省統計研究研修所)と重複する基本統計
量の解説や、自治体職員の方々にかなり浸透してきた
EBPMの概念についての説明等を簡略化し、統計
データ分析に用いる主要な統計分析手法の知識・技能
を習得させることに重点を置いた講義を行いました。
昨年度はグループ討議の時間を長めに設定したところ、
分析演習の説明が不足したとの意見を受け、個人
演習の説明時間をしっかりと確保し実施しました。

2. セミナーの様子

メイン講師:株式会社日本総合研究所 菅 章氏
サブ講師:同上 花山 愛歩氏ほか2名

○ 講義Ⅰ:「統計データ利活用概論」について

菅講師より、統計・データ利活用の基礎、EBPMや
PPDACサイクルについて例を用いて御説明いただきました。

○ 講義Ⅱ:「記述統計・データの可視化」について

菅講師より、分散やヒストグラムなど記述統計の基本的
な事項について御説明いただいた後、Excelで実際に
ヒストグラムを作成し標準偏差と相関係数を算出する個人
ワークを行いました。

○ 講義Ⅲ:「重回帰分析」について

菅講師より、重回帰分析についての概要やメリッ
ト、留意点等を御説明いただきました。Excelで分析す
る際の操作方法と結果の読み取り方を学び、個人ワー
クで重回帰分析を行いました。

○ 講義Ⅳ:「統計的仮説検定」について

菅講師より、統計的仮説検定の検定手法の選択方法
や実践方法を御説明いただき、Excelを用いて実践しま
した。

○ 総合演習:グループワークについて

これまで学んだ方法を用い、合計特殊出生率を目的
変数として、9つの匿名変数の中身を推理しました。
個人ワークで分析した後、グループワークでそれぞれの
分析結果を持ち寄って意見交換を行いました。

その後、菅講師、花山講師から回答と分析方法のポ
イントについて御説明いただきました。

○ 講義Ⅴ「発展的な手法について紹介」について

菅講師より、様々なEBPM手法やテキストマイニン
グなど発展的な手法について御説明いただきました。

3. セミナーを終えて

実施後のアンケートでは、講義Ⅰ～Ⅳと総合演習の
それぞれについて、「6.大いに満足/十分に理解」
「5.満足/ある程度理解」「4.やや満足/幾分理解」
「3.やや不満/あまり理解していない」「2.不満/ほぼ
理解していない」「1.大いに不満/全く理解していな
い」の選択肢の中から、講義及び演習の内容を評価し
ていただきました。

表 受講者アンケート結果

Q 講義・演習の内容はいかがでしたか?

区 分	講義Ⅰ	講義Ⅱ	講義Ⅲ	講義Ⅳ	総合演習
4以上	100%	100%	97%	97%	91%
5以上	89%	92%	81%	78%	75%

Q 講義・演習の理解度はいかがでしたか?

区 分	講義Ⅰ	講義Ⅱ	講義Ⅲ	講義Ⅳ	総合演習
4以上	100%	97%	94%	86%	86%
5以上	86%	75%	67%	28%	36%

Q 本セミナー全体の理解度はいかがでしたか?

区 分	本セミナー全体の理解度
4以上	92%
5以上	75%

その結果、講義・演習のそれぞれについて、おおむ
ね4以上の評価をいただいたものの、やや発展的な内
容の講義Ⅳと総合演習の理解度については5以上の評
価が3割程度という結果となりました。本年度は分析
手法をきちんと習得できるよう、講義ごとで長めの個
人ワークを設定しました。その後習得した分析手法を
用い発展的なグループワークに取り組みました。個人
ワークについては好評でセミナー全体の理解度は昨年
度より上がった一方、「グループワークの難易度が高く、
時間が足りなかった。」などのグループワークに関
する御意見が多く、今後の課題として挙げられます。
そのほか、アンケートでいただいた御意見・御要望
についても、今後の本セミナーの企画や運営におい
ていかしてまいりたいと思います。

今回の受講者の方々には、公的統計データ等を駆使
した地域分析によって、地方の課題を明確にし、課題
解決のための仮説を制作部局に提供するという、政策
立案の流れを作っていただくことが期待されていま
す。本セミナーが受講者の方々にとって少しでも有意
義なものになりましたら幸いです。

▶▶▶ 統計研修生募集の御案内 ◀◀◀
ー 令和6年度第4四半期(令和7年1～3月)ー

総務省統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員に対し、統計リテラシーの向上などを目的として、様々な研修を実施しています。

令和6年度第4四半期（令和7年1～3月）に実施する研修は下記のとおりです。研修内容の詳細や募集締切りについては、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」又は統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御覧ください。

令和6年度第4四半期に実施する研修について

研修課程名		主な対象者	開催時期	実施方法	研修概要
業務レベル別研修	統計データアナリスト研修（上級）				
	統計データアナリスト研修	①「統計利用の基本」、「調査設計の基本」及び「統計分析の基本」修了程度の知識がある者 ②国家公務員のうち、統計データアナリスト認定を目指す者、又は、統計データアナリスト補認定を受けている者	2月中旬～3月中旬のうち4週間	オンライン	上級研修として、統計の根拠法令、品質管理、統計精度の担保など管理者に必要な知識を学ぶ
	統計実務職員（統計データアナリスト補）研修（中級）				
	統計利用の基本	①「初めて学ぶ統計」及び「統計担当者向け入門」修了程度の知識がある者 ②国家公務員のうち、統計データアナリスト、統計データアナリスト補認定を目指す者	1月下旬～3月中旬のうち4週間	オンライン	中級研修として、既存のデータやグラフから要因、結果、状況を読み解く手法を学ぶ
	調査設計の基本				中級研修として、統計調査の企画立案、調査設計の流れ、根拠法令を学ぶ
	統計分析の基本				中級研修として、自身でデータを分析、考察する際に必要な統計的分析手法を学ぶ
	統計取扱業務担当職員向け研修（初級）				
	統計担当者向け入門	①「初めて学ぶ統計」修了者及び同程度の知識がある者 ②新規採用職員、統計初学者	1月下旬～3月中旬のうち4週間	オンライン	統計行政関係部署に新たに就いた者にとって必要な、統計データの入手、グラフによる可視化、利用の仕方を学ぶ
	初めて学ぶ統計	新規採用職員、統計初学者			これから統計利用を始める者にとって必要な、基礎的な統計リテラシー、統計制度を学ぶ
	分野別研修	データ活用コース			
政策立案と統計		①EBPMに興味のある者 ②施策立案部門の担当者	1月下旬～3月中旬のうち4週間	オンライン	政策立案と統計の関連性を学び、PDCAサイクルにおける統計の重要性を認識するとともに、実務における統計データのいかし方を学ぶ
政策評価と統計					PDCAサイクルにおける政策の事後の評価の観点から、統計の活用方法を学び、またアンケートによる効果測定の際に必要な基礎知識を習得する
ビッグデータ活用ー基礎から応用までー		ビッグデータの利活用に興味のある者			データの分析手法、可視化についての実例及びビッグデータからデータ分析する意義、目的について学ぶ
データサイエンス入門		データサイエンス初学者			統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に役立てる
データサイエンス演習		データサイエンス入門の受講者・修了者			ビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析（統計分析）の手法を習得する
誰でも使える統計オープンデータ		オープンデータをこれから利用する者			e-Statの使い方など、公的統計データの入手の仕方からオープンデータの利用方法を学ぶ
統計作成実務コース					
国民・県民経済計算		国民経済計算、県民経済計算の担当者	1月下旬～3月上旬のうち4週間	オンライン	実務担当職員の基礎知識として、国民経済計算、県民経済計算についての推計方法、分析手法を学ぶ
産業連関表の作成・分析		産業連関表の作成担当者			実務担当職員の基礎知識として、産業連関表の作成手法・分析手法を演習を通じて学ぶ
人口・経済統計コース					
社会・人口統計の基本		「統計利用の基本」修了程度の知識があり、データ分析を用いた社会・人口統計分析をこれから行う者	2月上旬【3日間】	集合	社会・人口統計分析の基本について学び、統計解析ソフトR及びエクセルを用いたデータ分析の演習を通じて社会・人口統計分析への理解を深める
マイクロデータコース					
マイクロデータ分析ーRによる統計解析ー		「調査設計の基本」及び「統計分析の基本」修了程度の知識があり、Rを用いたマイクロデータの集計・分析をこれから行う者	1月下旬【4日間】	集合	マイクロデータ分析と統計解析ソフトRの基礎、標本抽出法と標準誤差の評価について学び、Rを用いた演習を通じてマイクロデータ分析についての理解を深める
マイクロデータ分析のためのプログラミングー統計解析ソフトRの利用方法ー		「統計担当者向け入門」修了程度の知識があり、かつ、R以外の他言語でのプログラミング経験があり、これからRを使用する者	2月中旬【2.5日間】	集合	統計解析ソフトRについての基本的な知識とともに、実際の調査データを模した一般用マイクロデータを題材に実践的なデータの扱い方や集計・可視化の方法、またe-Statを例にAPI機能の使い方などを演習を通じて学ぶ

※ 各研修の日程、内容等は変更になる場合があります。

問合せ先 総務省 統計研究研修所 研修企画課
TEL 042-320-5874
E-mail o-kensuisen@soumu.go.jp

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください！

総務省統計研究研修所では、統計研修担当者及び研修受講希望者の利便性を図るため、国家公務員及び地方公務員に向けた統計研修の受講案内等を掲載した統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を開設していますので、積極的な活用をお願いいたします。

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」

<https://t-kenshu-om.soumu.hq.admix.go.jp/portal/index.html>

※閲覧には、政府共通ネットワーク又は総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続する必要があります。

〈トップページ〉



【掲載項目（主なもの）】

- 統計研修内容の御案内
(募集案内、開催予定、シラバス等)
- 研修受講記
- 受講申込方法
(募集要項、推薦書様式等)
- 自主学習用教材
- 統計研究研修所の概要

「令和6年秋の叙勲」

政府は、11月3日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の荣誉に浴されました。栄えある受章にお祝い申し上げます。

【勲章受章者】

○瑞宝双光章

鎌田 達夫 (千葉県)

○瑞宝単光章

熊谷 喜栄子 (北海道)
齋藤 利夫 (北海道)
土井 義男 (北海道)
畠山 禮子 (北海道)
山田 正己 (北海道)
吉川 民弘 (北海道)
力武 勝行 (北海道)
石山 雅子 (青森県)
北山 好子 (青森県)
伊藤 順市 (岩手県)
伊藤 優子 (山形県)
清水 恵子 (福島県)
七島 英子 (福島県)
阿部 しのぶ (茨城県)
鈴木 喜代子 (栃木県)

※敬称略

関口 雅夫
新島 瑞子
上原 すい子
久保 きく
田中 妙子
藤尾 保
梨本 一恵
安保 競子
澤田 久美子
八木 悦子
小嶋 しをり
原田 由美子
宮本 啓子
川西 由記子
石原 洋子
加藤 咲子
寺嶋 力男
大谷 征子
竹中 ちずゑ
村瀬 栄子
平石 清子

(群馬県)
(群馬県)
(埼玉県)
(埼玉県)
(埼玉県)
(千葉県)
(東京都)
(神奈川県)
(神奈川県)
(神奈川県)
(新潟県)
(富山県)
(富山県)
(石川県)
(山梨県)
(山梨県)
(長野県)
(岐阜県)
(岐阜県)
(岐阜県)
(静岡県)

荒川 友
廣田 裕美
宮崎 明美
中瀬 ふみ
水道 知子
高木 博子
濱田 優子
高井 慶子
米津 光子
津山 真里子
笠間 雅子
田邊 壽朗
辻本 徹
水田 京子
今道 福子
内藤 喜久子
多田 加代子
舟越 みゆき
圓入 近子
鳥越 百合子
安永 緑

(愛知県)
(三重県)
(三重県)
(滋賀県)
(大阪府)
(大阪府)
(大阪府)
(兵庫県)
(兵庫県)
(和歌山県)
(岡山県)
(岡山県)
(岡山県)
(岡山県)
(岡山県)
(広島県)
(山口県)
(徳島県)
(徳島県)
(福岡県)
(福岡県)
(福岡県)

「2024年度 統計関連学会連合大会」に参加して

統計局、政策統括官（統計制度担当）、統計研究研修所及び独立行政法人統計センターは、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の6学会に団体会員として加盟し、毎年、各学会が主催するいくつかの大会において、研究成果を発表し、情報発信を行っています。

ここでは、9月に「2024年度統計関連学会連合大会」が開催されましたので、その概要を紹介します。

9月1日（日）から5日（木）にかけて、「2024年度統計関連学会連合大会」が東京理科大学神楽坂キャンパス（新宿区）において開催されました。

本大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の主催により開催されています。

今年度の大会の構成は、以下のとおりです。

チュートリアルセッション、市民講演会、コンペティション講演（36件）、企画セッション（32件）、一般講演（180件）、他

統計局及び政策統括官（統計制度担当）からは、以下のテーマについて、発表講演を行いました。（敬称略）



発表者ら（東京理科大学にて）

【9月3日(火)】

<10:00～12:00 一般講演：公的・民間統計（1）>

- 制度部門別生産勘定及び所得の発生勘定における非金融法人企業と個人企業の分割推計（11:00～11:20）

三好 なみ（政策統括官（統計制度担当）統計委員会担当室）

<13:00～15:00 企画セッション：経済指標の新展開 — 景気の「今」をどのように捉えるか —>

- 消費動向指数における取組（13:00～13:30）

上田 聖（統計局総務課）、小田 大輔、田村 和弥、鶴島 元樹、松山 幸平、浅井 郁弥、井手 健太（いずれも統計局統計調査部消費統計課）

<15:30～17:30 一般講演：公的・民間統計（2）>

- 民間データを利用した消費動向指数（CTI）の公表早期化（15:50～16:10）

鶴島 元樹（統計局統計調査部消費統計課）

- 複数領域統合型世帯調査について（16:10～16:30）

藤原 彦次郎（政策統括官（統計制度担当）統計委員会担当室）

- 安定的な価格取集が困難な状況下における物価指数の作成方法の検証—コロナ下の外国パック旅行費を事例に—（16:30～16:50）

大島 敬士（統計局統計調査部消費統計課物価統計室）

【9月4日(水)】

<13:00～15:00 企画セッション：公的統計の二次利用における最新動向>

- 調査票情報提供の動向（13:00～13:24）

小松 聖（統計局統計調査部調査企画課）



研究発表の様子（1）



研究発表の様子（2）

行くべき山口

山口県総合企画部統計分析課

山口県は本州の最西端に位置し、北は日本海、西は響灘、南は瀬戸内海に開かれ、50か所以上の温泉等、豊かな自然に恵まれています。

今年は、アメリカの新聞大手、ニューヨーク・タイムズが「2024年に行くべき52か所」を発表し、日本からは唯一、山口市が3番目に選ばれました。「西の京都とも呼ばれ、過度な観光客に悩まされることが少ないコンパクトな都市」と紹介され、海外から注目が高まっています。

山口市といえば、山口県の県庁所在地ですが、人口密度では最下位。山口県においても、都道府県魅力度ランキングでは下位争いをしているほど、影が薄めです。戸惑いを感じつつも、「ふるさと山口」について、改めて統計データとともに見直してみました。

○歴史の響きをつなぐ

山口県は、本州と九州の結節点に位置し、大陸の玄関口でもあったことから、源平合戦や明治維新等、多くの歴史の表舞台にも登場しました。

日本三名塔の一つである「瑠璃光寺五重塔（国宝）」（山口市）や明治維新の舞台となった「松下村塾」（萩市）など、長い歴史に裏打ちされた史跡を多く有し、都道府県別史跡数ランキング(人口10万人当たり)は7位となっています。

「今日の読書こそ、真の学問である。」とは、吉田松陰の言葉ですが、社会教育調査の図書館調査から、山口県は人口10万人当たりの図書館数全国9位、人口1人当たりの図書館貸出冊数も常に上位にあり、明治維新の偉人の教えを引き継いでいるかのようです。



瑠璃光寺五重塔

○大自然と向き合う

山口県は、豊富な自然を背景に、日本最大のカルスト台地である「秋吉台」（美祢市）やCM等のロケ地としても使用された「角島」（下関市）など、数多くの景勝を有し、国指定天然記念物数が全国1位となっています。そして三方を海に開かれた県土からはアマダイ類漁獲量全国1位など、新鮮な食材を数多く産出しており、関連する水産練製品出荷額も全国3位となっています。

食卓にも、アジやかまぼこなど、海産物や練り物がよく登場し、家計調査においても、上位の常連となっています。意外なところで、チョコレート菓子や砂糖などの甘いものも上位の常連であり、ヘルシー志向ばかりではなさそうです。

[家計消費額の上位品目(3か年平均)]

品目	2021～ 2023	2020～ 2022	2019～ 2021	2018～ 2020	2017～ 2019
アジ	1位	1位	2位	2位	2位
かまぼこ	4位	4位	9位	7位	6位
チョコレート菓子	3位	1位	1位	1位	3位
砂糖	4位	2位	2位	7位	8位

○そこに住む住人の生活

社会生活基本調査(R3)から、1日当たりの平均仕事時間は短い順で全国9位、平日の帰宅時間は早い順で全国6位、各人が自由に使える時間における活動総平均時間は全国3位など、仕事ばかりでなく、余暇も充実しているライフスタイルが想像されます。

住んでいると、その場所の良さが見えづらくなることがありますが、こうしてデータとともに見直してみると、改めて、素晴らしいふるさとであることが分かりました。

とはいえ、ふるさととはその人の定点、山口県の童謡詩人、金子みすゞさんの言葉「みんなちがってみんないい」ものだと思います。

どうぞ皆さん、ゆっくりのんびり、山口県に遊びに来てくださいね。

そして、皆さんのふるさとの話も聞かせていただきたいと思います。



最近の数字

		人 口		労 働・賃 金			産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
										全国	東京都都区部	
		千人(Pは万人)	万人	%	円	2020=100	兆円	円	円	2020=100	2020=100	
実数	2024. 5	123941	6766	2.6	297,162	104.4	32.7	290,328	376,084	108.1	107.4	
	6	P 12389	6822	2.5	498,887	100.0	P 33.9	280,888	813,616	108.2	107.5	
	7	P 12396	6795	2.7	403,090	103.1	P 33.6	290,931	568,191	108.6	107.8	
	8	P 12385	6815	2.5	296,154	99.7	P 33.0	297,487	482,029	109.1	108.4	
	9	P 12378	6814	2.4	P 292,551	P 101.1	...	287,963	402,605	108.9	108.1	
	10	P 12379	...	...	...	...	...	...	...	...	P 108.8	
前年 同月比	2024. 5	-	0.3	* 0.0	2.0	* 3.6	3.7	-1.8	5.3	2.8	2.2	
	6	-	0.5	* -0.1	4.5	* -4.2	P 2.3	-1.4	8.5	2.8	2.3	
	7	-	0.3	* 0.2	3.4	* 3.1	P 4.0	0.1	7.3	2.8	2.2	
	8	-	0.6	* -0.2	2.8	* -3.3	P 2.4	-1.9	3.7	3.0	2.6	
	9	-	0.4	* -0.1	P 2.8	* P 1.4	-	-1.1	-1.8	2.5	2.1	
	10	-	0.4	* -0.1	P 2.8	* P 1.4	-	-1.1	-1.8	2.5	2.1	

(注) P：速報値 *：対前月
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程（2024年11月～2024年12月）

《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月6日	オンライン統計研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「初めて学ぶ統計」開講（～12月3日）	11月20日	オンライン統計研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講（～12月17日）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計利用の基本」開講（～12月3日）	〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計分析の基本」開講（～12月17日）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「政策立案と統計」開講（～12月3日）	〃	オンライン統計研修【第3回】統計データアナリスト研修「統計データアナリスト研修」開講（～12月17日）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「国民・県民経済計算」開講（～12月3日）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「データサイエンス演習」開講（～12月17日）
13日	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「調査設計の基本」開講（～12月10日）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講（～12月17日）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「政策評価と統計」開講（～12月10日）	12月4日	第72回全国統計大会
〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「ビッグデータ利活用－基礎から応用まで－」開講（～12月10日）	11日	登録調査員中央研修
〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「データサイエンス入門」開講（～12月10日）	〃	事例から学ぶ ビジネスパーソン向け統計データ利活用セミナー【第1回】 【ライブ配信】
〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「産業連関表の作成・分析」開講（～12月10日）	17日	地域分析コース「地域分析」開講【集合】（～20日）

《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月8日	家計調査(家計収支編：2024年9月分及び2024年7～9月期平均)公表	12月20日	小売物価統計調査(全国：2024年11月分)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2024年9月分及び2024年7～9月期平均 ICT関連項目：2024年7～9月期平均)公表	〃	人口推計(2024年7月1日現在確定値及び2024年12月1日現在概算値)公表
〃	消費動向指数(CTI)2024年9月分及び2024年7～9月期平均公表	26日	住民基本台帳人口移動報告(2024年11月分)公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2024年10月分公表	27日	労働力調査(基本集計)2024年11月分公表
12日	労働力調査(詳細集計)2024年7～9月期平均公表	〃	消費者物価指数(東京都区部：2024年12月分(中旬速報値)及び2024年平均(速報値))公表
20日	人口推計(2024年6月1日現在確定値及び2024年11月1日現在概算値)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部：2024年12月分)公表
22日	消費者物価指数(全国：2024年10月分)公表	〃	サービス産業動向調査(2024年10月分速報及び2024年7月分確報)公表
〃	小売物価統計調査(全国：2024年10月分)公表	31日	統計トピックス「已年生まれ」と「新成人」の人口 ー令和7年 新年にちなんでー公表
〃	住民基本台帳人口移動報告(2024年10月分)公表	月内	経済構造実態調査(2023年四次集計結果)公表
〃	第74回日本統計年鑑(令和7年)刊行		
29日	労働力調査(基本集計)2024年10月分公表		
〃	消費者物価指数(東京都区部：2024年11月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都区部：2024年11月分)公表		
〃	サービス産業動向調査(2024年9月分速報及び2024年7～9月期速報並びに2024年6月分確報及び2024年4～6月期確報)公表		
12月6日	家計調査(家計収支編：2024年10月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2024年10月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI)2024年10月分公表		
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2024年11月分公表		
中旬	2024年科学技術研究調査結果公表		
20日	消費者物価指数(全国：2024年11月分)公表		

編集発行



総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係
TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
ホームページ <https://www.stat.go.jp/>
御意見・御感想をお待ちしております。